

ガーデニングのカラープラン



ひとつの色や色の組合せへの感じかたは、人によって異なり、流行やまわりの環境でも変化します。それだけに、石や金属、焼物などの花器、樹木や花など、色とりどりのもので構成されるガーデニングのカラープランはまさに多彩です。

共通の心理効果を活かす

人や時代で感じかたはやや異なりますが、色には共通した心理効果もあります。

元気ができる色



心が落ち着く色



中間色

グリーン、ホワイト、ベージュ、グレーなどは影響の少ない安定した色といえます。

元気ができる色は快活で積極的な気分にさせ、心を落ち着かせる色はその逆の効果があります。こうしてみると花ならなんでもいいのではなさそうです。

高齢者のお宅には元気ができる色を主に



(株)スasakiグリーン様の設計事例

高齢の方には、元気ができる活発な気分にさせるガーデニングを…。また、一般に夏は涼しげな落ち着かせる色の花がおすすめです。

色彩による心理効果は、そううつ症状などのセラピーにも活用されるほどです。ガーデニングには施主様のご年齢、季節などの配慮もご提案のポイントでしょう。



兵庫県三田市 O邸

設計のポイント——限られたスペースのフロントガーデン

ゆるくカーブする石段とランダムな石積みで潤いのある表情を創る

北側が道路に面した敷地で、駐車スペースをとるとアプローチは3m余り。「ちょっと変わったエクステリアを」との施主様のご希望でロックガーデン風の前庭を指向しました。階段は機能を果たす幅に限定し（素材は御影石）両脇を大小の石の崩れ石積みとし、植栽がより自然に見えるよう工夫しています。樹木は季節の移ろいを感じさせるようサザンカ・シャラ・シラカシ・キンモクセイ・モミジ・ハナミズキを配置。玄関の必要機能は機能門柱に集約し、潤いのあるフロントガーデンを実現しています。

